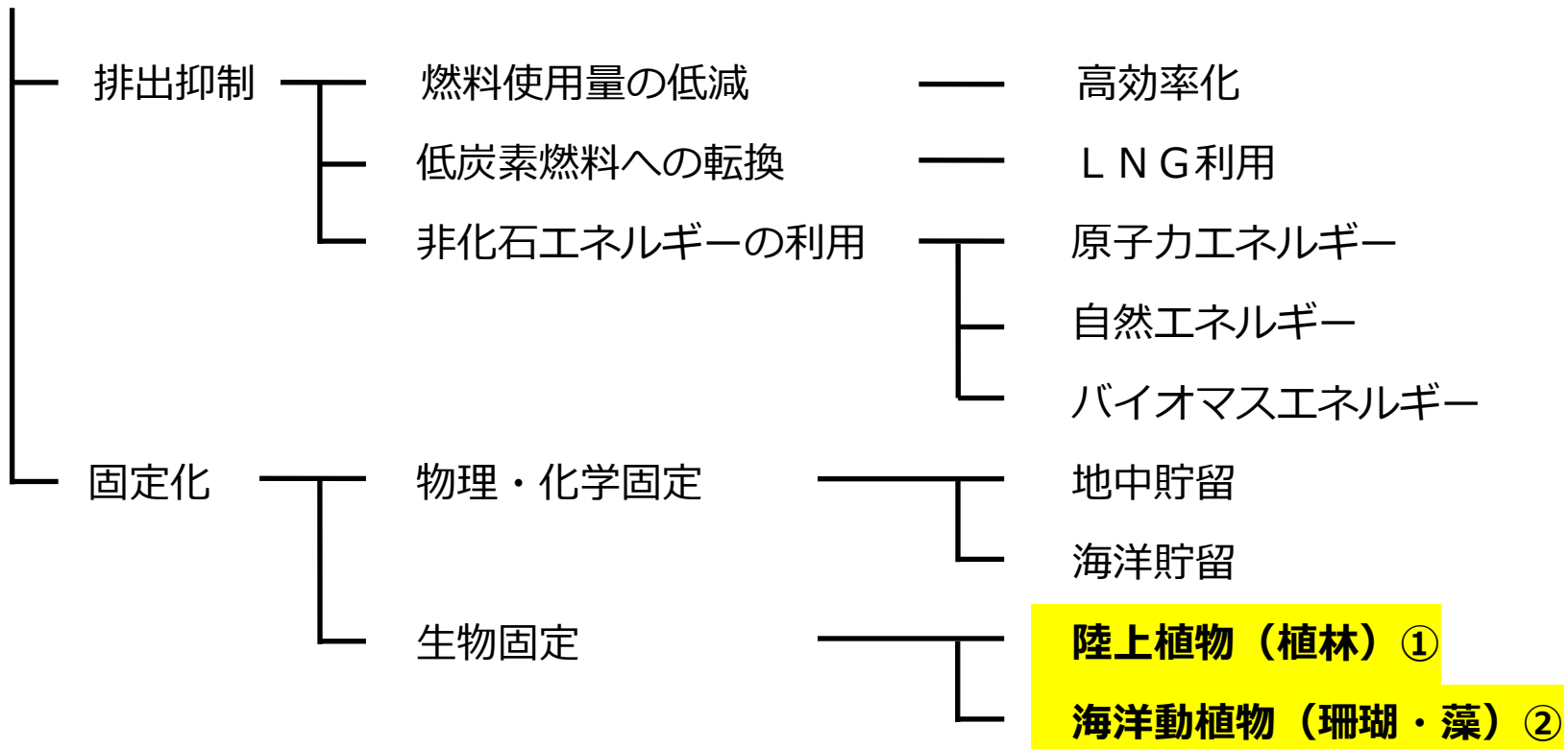


# 植物などを利用した CO<sub>2</sub> 吸収・固定化技術の変遷

- 地球温暖化防止に向けた取り組みが CO<sub>2</sub> 排出事業者に求められております。
- 当社では植物などを利用した CO<sub>2</sub> 吸収・固定化に取り組んでまいりました。

## CO<sub>2</sub> 削減技術の分類



## 当社における主な研究の紹介

### ①航空写真を利用した森林 CO<sub>2</sub> 吸収量評価

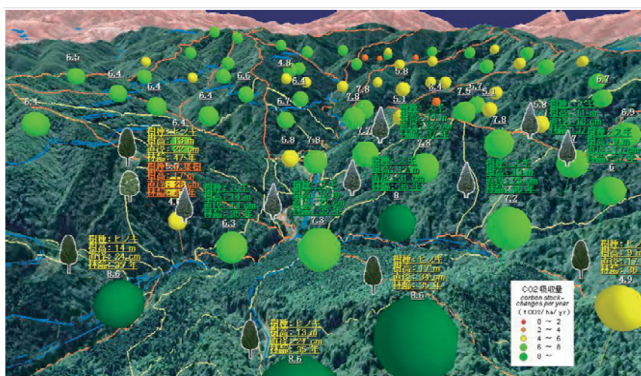
(2010～2011)

#### 背景

森林は適切な管理をすることにより CO<sub>2</sub> 吸収源としての活用が期待されております。

#### 成果

- 森林の CO<sub>2</sub> 吸収量の算出プログラムと表示システムを開発しました。
- 当社保有の内ヶ谷山林を調査し CO<sub>2</sub> 吸収量を算出することができました。



CO<sub>2</sub> 吸収量の表示システム（内ヶ谷山林）  
（球体の色と大きさで CO<sub>2</sub> 吸収量を表す）

### ②人工珊瑚による CO<sub>2</sub> 固定

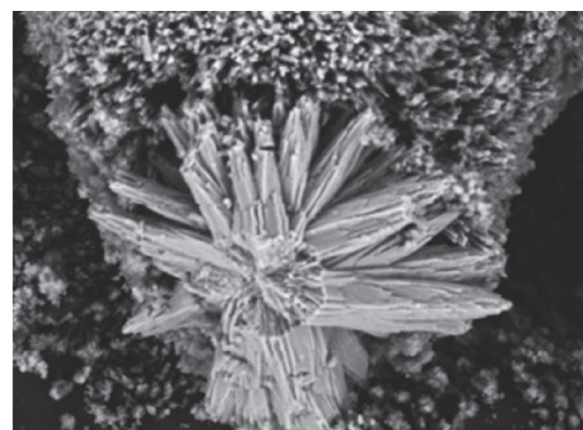
(2011～2015)

#### 背景

海水中で人工的に珊瑚を成長させることは CO<sub>2</sub> 固定技術として期待されております。

#### 成果

- 海水中のイオンの挙動を調べることにより、人工珊瑚の成長メカニズムを解明しました。
- 人工珊瑚を効率的・持続的に成長させる手法を見出すことができました。



人工珊瑚の電子顕微鏡写真